

陵南新聞

第352号
編集・発行責任者
陵南中学校
石山勝巳

第五五回 入学式

四月八日（火）に寒河江市長 齋藤貞朗 様ほか多数のご来賓をお迎えして、入学式が挙行されました。新入生代表の齋藤麻矢さんは、中学校での目標を「心の成長」とし、自分の意思を明確にした挨拶をしてくれました。新入生185名・全校生551名、教職員62名で今年度歩んでいきます。

【新入生代表あいさつ（一部抜粋）】

先日、六年間過ごした学び舎を卒業した、私たち185名は、たくさんの人たちに見守られ、本日、伝統ある寒河江市立陵南中学校に入学することができました。

今、私はここに立ち、どんな出会いや学びが待っているかという期待と、新しい環境でちゃんとやっていけるのかという少しばかりの不安があります。しかし、これから始まる中学校生活は、私たちにとって大きな一歩であり、たくさんさんの学びと成長のチャンスです。この新しい環境で皆さんと共に過ごせることをとても楽しみにしています。

私自身、中学校での目標を一言で表すなら「心の成長」です。中学校生活三年間を通して、様々な面で成長していけたらと考えていますが、その中でも特に、学習と部活動を通じて成長していけたらと思います。どちらもそれぞれの目標があり、個々に努力を重ねることが大切です。そして、お互いに高



敗しながらも一歩一歩進んでいきたいです。部活動を通して技術を高めるだけでなく、協力の大切さやチームワークを学び、仲間とともに乗り越えていく力をつけることができると思います。どんなに難しい課題があっても、仲間と支え合って進んでいけばきつと達成できるはずです。

時には思うようにいかないこともあるでしょう。でも、そこで重要なのは諦めずに前に進み続けることだと思っています。その時こそが一番、お互いを支え合い、高め合う瞬間です。私は、自分一人ではなく、仲間とともに乗り越えていくことを忘れずにいたと思います。勉強の面でも部活動でも、友達のかかわりの中でも一緒です。これから過ごす時間が、かけがえのない思い出となり、成長の糧となるよう、全力で取り組み、この三年間を最高のものにしていきます。

め合うことも、また大切です。クラスでは、一人一人が違う考えを持っていると思います。その違い、個性を尊重し、助け合いながら学び、共に成長していけたらいいなと思っています。

部活動では、同じ目標を持った仲間とともに一緒に練習し、時には失

校長先生をはじめとする先生方、先輩方、地域の皆さん、中学生になったとはいえまだまだ未熟な私たちです。どうぞ温かく、時には厳しくご指導をお願いします。

新任の教職員です

◇よろしくお願いします◇

【転入】

校長	石山 勝巳	市教委より
教諭	芳賀 彰洋	陵東中より
教諭	草苅 里美	大江中より
教諭	井上 成央	鳥海八幡中より
教諭	羽島 昌人	大森三中より
教諭	湯本崇大朗	新規採用
教諭	渡邊 信也	河北中より
講師	西塚 淳	大江中より
講師	田代 琴見	新規任用
事務主査	柴田 真美	南部小より
非常勤講師	鈴木 正直	河北中より
養護助教諭	藤本真理愛	山六中より
別室指導員	熊谷 哲子	（週二日勤務）
別室指導員	相原 妙子	（週三日勤務）
特別教育支援員	鈴木千恵美	陵東中より
特別教育支援員	結城 ヒロ	西根小より

◇校長式辞「抜粋」◇

教室は間違ったり失敗したりするところです。失敗したらやり直せばいいのです。また、やり直そうとしている仲間がいたら、認めてあげてください。そして励ましてください。自分の目標に向かって自分をより良くしていこうとチャレンジして失敗し

でも恥ずかしいことではありません。中学校では、自分で考えて行動することがこれまで以上にありますので、失敗を恐れずに勇気を持ってチャレンジして欲しいと思います。

また、学校生活を送る上で、「相手を大切にすること」も心がけましょう。人は、一人では生きていけません。自分自身はもちろん、相手を大切にすることは、人として基本的なことだと思います。

相手の立場になって考え、行動できる人に成長して欲しいと思います。友達の欠点を気にするのではなく、友達の良さを認め、お互いに助け合い、高め合える仲間づくりをしていってください。

思いやりの心で絆を深め、「ありがとう」のあふれる充実した中学校生活を送ってください。

これからの社会は、新しいものを生み出す力や主体性、創造性、感性などの「人間的な能力」に磨きをかけ、生きていくことが一層重要になります。このような社会を生きていくからこそ、相手のことを考えて行動し、「心豊かな感性」を持って友達や先生方、家族との絆を深めることができる中学生活であって欲しいと思います。



西村山中学校駅伝大会

男女ともに県大会出場！

四月十八日(金)に、朝日町秋葉山交遊館周辺の周回コースを会場に開催された西村山中学校駅伝競走大会では、男子優勝、女子3位、区間賞6名という素晴らしい結果を出しました。十月に開催される県大会には、男女ともに出場します。

今年度の地区総体最初の競技での好成績は、これからの学校生活に勢いをつけてくれるものと思います。選手、そして一緒に練習し頑張ってきたみなさんの努力と頑張りには敬意を表します。

	男子(氏名・学年)	女子(氏名・学年)
1区	*熊坂 啓汰(2)	國井 璃音(2)
2区	*佐藤 陽斗(2)	*國井 穂奏(2)
3区	*佐藤彩音人(2)	佐竹 桃瑠(2)
4区	*熊澤 恵太(2)	荒木ミナミ(3)
5区	*小川 陽翔(2)	佐藤 彩音(3)
6区	石ヶ森倅大(3)	矢口 結葵(2)
補欠 サポーター	村岡 慶亮(2)	伊藤 夏帆(3)
	小林 照瑛(2)	白田 琴々(3)
	古川 凌大(3)	田中 希実(3)

*印は、区間1位の選手です。

お誘い合わせの上、教室の中で授業の様子を参観ください。生徒昇降口から入ってください。

五月二十日(火)～二十二日(木) 八時四十分から午前中、学校開放日(自由参観)です。

親子講演会開催

『SOSの出し方について』

四月二十五日(金)のPTA総会の前に、県立保健医療大学教授の安保寛明氏の講演会を企画し、全校生徒と保護者を対象とした親子講演会を、本校体育館で開催しました。

紙風船は、へこんだだけなら膨らませなくても元に戻ります。でも、ぺしゃんこになってしまつと、外から誰かが空気を入れて膨らませてあげないと元に戻りません。へこむくらいなら回復するけれど、つぶれた紙風船は自力では回復しないことを人に例え、心に手当てが必要なきときは、自分の信頼している人に打ち明けて、助けをもらうことの大事さを教えてくださいました。

この日は、市のハートフルセンターに勤務する職員も講演会に参加し、SOSの電話番号を全校生に紹介していただき、安心感が増しました。

企画してくださったPTA役員のみなさま、ありがとうございました。いろいろなことがんばれるよう、心身ともに健康を保つのが何よりです。



おかげさまで令和7年度もよいスタートを切ることができました。今年度の『陵南新聞』は、町内会の回覧で子どもたちの活躍の様子や学校の状況をお知らせいたします。各町会の役員の皆様は大変お世話になりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。